


FRESHERS' CAMP '12


この夏、どのような夏を過ごしましたか？
大学生の間に、全力で取り組める何かを
あなたはもう見つけましたか？

高校生と「語り」合う授業




(活動例)
高校の授業枠を利用したカタリバの実施・大学のオープンキャンパスにおけるカタリバの実施など
高校の授業の枠を利用し、体育館で高校生と大学生が将来の夢や今の悩みなどを「語り」合う「カタリバ」という授業を行っています。カタリバでは「ナナメの関係～親でも友達でもない関係～」を使って、高校生に大きな気付きを提供しています。

駄菓子屋の運営



(活動例)
駄菓子の仕入れ・お店の当番・お店の経営管理・お祭りなどへの出張駄菓子屋など
夙川駅のすぐ近くで駄菓子屋「やなや」を運営しています。駄菓子の仕入れから、お店の当番、経営管理など、全て学生だけで行い、運営しています。最近では減ってきている子どもたちの「居場所」となるような場所を提供しています。

障がい児の支援



(活動例)
障がい児の外出支援・障がい児対象の日帰りイベントや宿泊イベントなど
ブレーション・ヒューマニティーでは障がいを持った子どもたちに対してもレクリエーションのイベントを行っています。BBQや水遊び、パン作りといった様々な企画を行い、家族や介助者以外の人たちと関わることができる機会を提供しています。

秋の新歓イベント

ボランティア希望者説明会(関学上ヶ原キャンパス)
日時:10月8日(月)～12日(金) 12:40～13:20
場所:C号館 103教室
内容:関学内にてお昼休みに、当会の活動内容などを説明します。
申込:不要(お気軽にご参加ください。)


ボランティア希望者説明会(BrainHumanity西宮事務局)
日時:10月8日(月)～12日(金) 19:00～20:00
場所:阪急西宮北口駅北改札口に18時50分にお越しください。
内容:BHの事務局にて、当会の活動内容などを説明します。
申込:不要(お気軽にご参加ください。)

特定非営利活動法人
BrainHumanity
関西学院大学登録団体
KG BrainHumanity

【問い合わせ先】
このキャンプの責任者は高田亜樹です。わからないことや苦情、お叱りなどはなんでも高田の携帯まで。
高田 亜樹(タカダ アキ・関学文3)
tel: 050-3639-5265 mail: vol@brainhumanity.or.jp




様々な子どもたちへの学習支援




(活動例)
家庭教師の派遣・不登校や生活保護世帯の子どもたちへの学習支援など
家庭教師を希望してる家庭へ講師を派遣したり、生活保護世帯の子どもたちへの学習支援も行っています。また不登校の子どもたちの家庭にも、特別な研修を受けた学生の講師を派遣し、学習支援を行ったり、日帰りや宿泊のイベントを行ったりもしています。

子どもたちの貧困撲滅プロジェクト



(活動例)
生活保護世帯の子どもたちへのバウチャー配布・貧困状態にある子どもたちへの学習支援など
子どもたちの貧困は海外の問題だけではなく、日本の問題にもなっています。生活保護世帯の子どもたちは塾や習い事に行く機会がありません。そのため、そのような機関で使用できるバウチャーを募金等で集めた資金を基に発行し、配布しています。

被災地復興支援



(活動例)
石巻復興支援ボランティアの派遣・被災地支援募金活動・被災地の住環境整備など
東日本大震災により大きな被害を受けた東北地方に学生ボランティアを派遣し、仮設住宅の住環境整備など被災地復興支援を行っています。また、現地の方のお話を聞かせていただいたりして、復興について学生同士が考える機会を持っています。

小学生との秋のハイキング
日時:10月28日(日)・11月10日(土)・25日(日) 8:30～18:00
場所:甲山森林公園(最寄り駅:阪急甲東園駅)
内容:子どもたちと甲山までハイキングして、宝探しなどをします。
申込:必要(下記の問い合わせ先までご連絡ください。)

不登校支援ボランティア養成研修
日時:11月23日(金)～25日(日) 2泊3日
場所:兵庫県立総合体育館(最寄り駅:阪神甲子園駅)
内容:不登校に関する知識やコミュニケーションスキルを学びます。
申込:必要(下記の問い合わせ先までご連絡ください。)



100人以上の仲間と一緒に食事



グループでの食事作りや交流



大自然のなかで思いっきり遊ぶ!

フレッシューズキャンプとは？

フレッシューズキャンプは子ども達を対象にキャンプなどの野外活動などを行っているBrainHumanityがBHに興味がある学生のために本気を出して企画するキャンプです。もうすでにこのキャンプは11回目を迎え、多くの参加者が社会に旅立っていますが、このキャンプで得た仲間とのつながりはいままも続いています。これまで1000人以上の学生が参加してきたこのキャンプで、新しい仲間たちとのつながりを作りませんか？私たちは自信をもって皆さんにこのキャンプをオススメします。

先輩や同輩たちとのつながり

このキャンプにはBrainHumanityで活動するメンバー達も数多く参加しています。参加者10名ほどが一つのグループとなり、料理作りなどのプログラムを行います。昼間は思いっきり自然のなかで身体を動かし、夜は仲間達と熱く語り合う。たった1泊のキャンプですが、それだけとは思えないような濃密な時間が待っています。慌ただしい日常生活のなかでは気づかずにいた自分自身の声や本当の思いに静かに耳を傾けることができる時間と環境がキャンプ場にはあります。

BrainHumanityを知る機会

私たちはより多くの学生にBHの活動に参加して欲しいと願っています。でも、それは決して無理強いをしたり、強引に誘ったりすることではないと考えています。少なくとも私たちの活動に参加する一人ひとりが私たちの活動や組織の雰囲気、思いをよく知った上で、参加する決断をしてほしいと思っています。だからこのキャンプに参加して、「何か違う!」と思ったらそこでやめることも全然OKです。BHに参加するつもりもなく単に楽しんでもらうだけでもOKです。是非、皆さん、ご参加下さい。

日程
2012年11月2日(金)・3日(土)
1泊2日
集散
集合 11月2日(金) 10:00
阪急宝塚駅改札
解散 11月3日(土) 17:00
阪急宝塚駅改札
場所
関西学院千刈キャンパス
兵庫県三田市香下1817-1
tel 079-563-5233
阪急宝塚駅から貸切バスで約50分
関西学院が所有するキャンプ場です。

内容
・10人程度のグループに分かれ、みんなで料理をつくりたり、身体を動かしたり、自然のなかで遊んだりします。
・できるだけみんなが親しくなれるようにゆったりしたスケジュールです。
・普通のサークルのキャンプでやるような企画はありません。
持ち物
1日目の昼食(弁当)・着替え・防寒着(朝晩はかなり寒い)・タオル・洗面用品・雨具など

費用
4,980円
宿泊費、食費、保険料、企画費等含む、
交通費1,000円は別途必要です。
申込み
メールでお申込ください。
fc12@brainhumanity.or.jp
右のQRコードを読み取る、もしくは上記のアドレスにメールを送ると自動返信で申込フォームのアドレスが案内されます。そのフォームにアクセスして必要事項を入力の上、お申込ください。
連絡先
高田亜樹 050-3639-5265
vol@brainhumanity.or.jp



大学生が持っている自由と選択

長い夏休みが終わり、ついに秋学期が始まりました。それは、大学生活の1/8がすでに終わってしまったことを意味しています。高校生までとは違い、大学生は多くの自由を持っています。履修する授業も自由、バイトも自由、サークルも自由。自分が何をするのか、誰とするのか、すべてを自由に決めることが出来ます。しかし、同時にそれは、自分自身で常に選択をしていかなければならないということの裏返しでもあります。

BrainHumanityという選択

少し考えてみてください。自分は大学生活で何をしたいのか？自分は大学生活で一体どう変わりたいのか？まだ高校生だったとき、どんな大学生に憧れ、どんな大学生になりたいと思っていたのか？私たちは皆さんに、たくさんある選択肢の1つとしてBrainHumanityという選択肢を提示したいと思っています。たった4年間しかない大学生活を本当に充実したものにするために、私たちと一緒に活動してませんか？皆さんの一歩を待っています。

BrainHumanityボランティア担当 高田 亜樹(関学文3)

	11月2日(金)	11月3日(土)
朝	集合	朝食(食堂) 焼きいも大会
昼	昼食(弁当) 屋外レクリエーション	昼食(食堂) BHの活動紹介
夜	野外料理 キャンプファイヤー	解散 打ち上げ(希望者のみ)

フレッシューズキャンプとBrainHumanityに関するQ & A

Q BrainHumanityって、どんな団体なんですか？

A 私たちは、関西学院大学の学生により設立された全国初の学生主体のNPO法人です。現在、約700名の学生ボランティアが在籍し、子ども達や青少年を対象にした活動をしています。

また、関西学院大学の学生支部として、KG BrainHumanity(関西学院大学登録団体)もあり、学内での活動も行っています。詳しくは下記の紹介をご覧ください。

Q フレッシューズキャンプには途中から参加できますか？

A はい、大丈夫です。毎年、学事などでキャンプの途中から合流する参加者もいます。また、キャンプ途中での早退も可能です。いろいろな大学生とふれあい、また自分とも向き合えるチャンスなので、途中からでもぜひご参加ください。途中から参加される場合は、申し込みの際に必ずお申し出ください。時間や交通手段についてなど、何か相談がある場合は担当者までお気軽にどうぞ。

Q 秋からでもBrainHumanityの活動に参加できますか？

A はい、BrainHumanityでは1回生の春から参加しなければ活動できないということではなく、1回生の秋や冬、または2回生や3回生になってからイベントに参加する人もたくさんいます！

春に入っていたサークルを辞めた人、ボランティアに興味がある人、今までの生活に退屈して新しいことを始めたい人など、どんな人でも大歓迎です。お待ちしております。

Q フレッシューズキャンプにはどんな人が参加するのですか？

A 関西学院大学、武庫川女子、親和女子大学、近畿大学、甲南女子大学、神戸女学院大学、神戸松蔭女子大学、甲南大学、神戸大学、大阪大学、関西大学、立命館大学など関西圏のさまざまな大学生が毎年たくさん集まります。もちろん1回生の人たちだけでなく、2回生、3回生も参加しています。きっといろんな出会いがあなたを待っています。

Q キャンプに参加したらBHの活動に参加しないといけないのですか？

A そんなことはありません。フレッシューズキャンプは、参加者の皆さんに有意義な大学生活を送ってもらうことを目的に開催しています。もちろん、このキャンプを通じて、私たちの活動に参加してもらえればうれしいですが、それ以上にこのキャンプで多くの仲間達と出会い、学びや気付きを深め、それぞれが充実した大学生活を送ることができるようになればと願っています。

Q 一緒にキャンプに参加する友達がいなくて不安なのですが・・・

A 安心してください。過去のフレッシューズキャンプでも一人で参加している参加者が大半です。フレッシューズキャンプは新しい友達と出会う絶好のチャンスです。キャンプ中は10人程度の班で活動しますので、すぐにメンバーとも仲良くなれます。ここで出会った仲間達は大学生活の中でかけがえのない親友になることでしょ。

過去の参加者の声

・はじめは知らない人たち同士の集まりだったけど、2日間であんなに仲良くなれたし楽しくて最高でした

・チラシを見ていた時よりももっと興味が深まりました。すごく楽しかったです。いろいろと参加者のことを考えてくれて本当にありがとうございました。

・BHのことをもっと知れたのでよかったです。新しい友人もできたし、とてもたのしかったです。

・ファイヤーでの先輩方のお話がとても心にしみました。大学生活ムダにできない!!って思いました。

・リーダーさんもスタッフさんもめっちゃいい人です。気軽にしゃべれて楽しいです。班のみんなも大好きです。

・夕食づくりがすごく楽しかった。野外レクで班の人たちと仲良くなれたので良かった。

・BHの様子見程度で参加したのですが、出会ったばかりの人々とたくさん語れたり一緒にご飯を作ったりと、とても貴重な体験ができました。ふつうの土日休みでは味わえない2日間でした

・とても明るくて熱い人がいてとても刺激を受けました。先輩たちの思いや話を聞いて私もこれからいろんなことにとびこんで挑戦していきたいと思いました!!

・やりたいことが多すぎて、きまらない!すごい団体だ!

もう半年が終わりました。残りの3年半、その場所でそのまま過ごしていいんですか？

BrainHumanityとは？

始まりは阪神・淡路大震災

1995年1月17日、兵庫県南部を襲った地震は6000名もの人命を奪い、同時に多くの子どもたちも被害を受けました。テレビでは、避難所で参考書を広げる中学生の姿が流されました。「被災した子どもたちに勉強面での支援をしたい。」そんな思いをもった関西学院大学の学生たちは被災した子どもたちへの訪問学習支援活動を始めました。それが、私たちの組織の始まりでした。

全国初の学生主体NPO法人の誕生

「キャンプに行きたい。」被災した子どもが言ったその言葉をきっかけに、私たちの活動は地域の子供たちへのレクリエーション活動へと広がっていきます。そして2001年6月、全国初の学生主体NPO法人として、私たちの組織は形を整え、活動を続けています。その後、不登校の子供たちへの支援活動や、国際ボランティア活動など、私たちの活動はさらに広がりました。

「限られた子どもたち」から「すべての子どもたち」へ

「すべての子どもたちに私たちのキャンプに来て欲しい。」「すべての子どもたちに私たちの支援を届けたい。」そんな思いが新しい活動を生み出しています。母子支援施設など様々な施設にいる子どもたちへの学習支援活動、障がいをもった子どもたちへのレクリエーション活動、生活保護世帯の子どもたちへの学習支援活動などです。「子どもたちが多様な価値観に触れ、その選択肢を広げて欲しい。」それが、一貫した私たちの思いです。

自分たちのことは、自分たちで決める。

BrainHumanityでは、その理事の過半数を学生が担っており、これからのどんな事業を行うのか、どんなイベントを行うのかなど、自分たちの組織に関する決定は、すべて学生が主体となって決定しています。自分たちのことは自分たちで決める。それが私たちの組織の基本です。

関わり方は、それぞれの自由。

私たちの組織には、普通のサークルのように活動日や活動時間が決まっているわけではありません。行きたいイベントの日だけ参加するボランティアもいれば、イベントの企画・立案のために毎日のように活動しているボランティアもします。自分のペースで活動が出来ます。

普通の大学生活では味わえない毎日。

私たちの組織では、イベントの参加者、各種財団や企業、行政機関などから年間一億円を超える資金を学生たちが集めています。それは、同時に私たちの責任の大きさを示すものでもあります。普通の大学生活では味わえないダイナミックな毎日がここにはあります。

限界を超える。その先は無限だ。

自分たちで事業を企画し、資金を集め、実際に運営する。その過程では、仲間たちとの意見の食い違いや、プログラムがうまく運ばないといった様々な失敗があります。その1つ1つの失敗を乗り越えながら、社会へ飛び出す準備をする。その舞台が私たちの組織にはあります。

子ども達とのキャンプ



(活動例)
夏休みサマーキャンプ・海洋冒険キャンプ・冬休みスキーツアー・週末キャンプなど

長期休暇や週末に子どもたちと一緒にキャンプをします。1泊や2泊の短期キャンプから、5泊の長期キャンプまで、さまざまなプログラムのキャンプを企画しています。普段触れることのないような自然に触れ、野外炊さんやキャンプファイヤーを楽しみます。

子ども達との日帰りイベント



(活動例)
水遊びや室内工作などのレクリエーション・施設見学などの社会体験活動など

週末を利用して様々な種類のイベントを行っています。水遊びや室内工作をしたり、水族館やお店の仕事の体験をしたりといった幅広い内容の企画を毎週行っています。また、冬にはスケートや雪遊びといったイベントも行い、たくさんの子供たちが参加しています。

海外ボランティア



(活動例)
マレーシアでの植林ワークキャンプ・フィリピンでの居住建築ワークキャンプなど

夏休みや春休みに中高生・大学生を対象とした海外でのワークキャンプを行っています。どちらのワークキャンプも現地の家にホームステイし、現地の方と交流しながら、植林や居住建築を通して、現地の問題について考える時間をもちます。

国内でのワークキャンプ



(活動例)
地域活性化や農地設備を目的とした限界集落によるワークキャンプなど

人口の半分を65歳以上の高齢者が占める「限界集落」において、農作業や鳥獣被害防護柵の設置などを行っています。また、このような地域では地域行事の担い手が不足し、集落としてのほたらきが困難になるため、お祭りなどの行事のお手伝いもします。